

指定校番号	29029	学級活動		生徒会活動	○	学校行事		中学校用
-------	-------	------	--	-------	---	------	--	------

## 平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立済美中学校	校長	小川 誠	生徒指導主事	山口 裕三
-----	-----------	----	------	--------	-------

**取組事例名 『朝のあいさつ運動と清掃ボランティア』****取組のねらい『キーワード あいさつと環境美化へのこだわり』**

特別活動は、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることを目標としている。本校では、望ましい集団づくりに向け、生徒会活動の充実を図り、生徒が主体的に考えて行動すること及び地域社会へ貢献できるボランティア活動を行うことを重点とした。よりよい生活と人間関係を築くことの基礎は「あいさつ等の礼節」であると考え、毎朝のあいさつ運動と環境を整えるための清掃・美化活動ボランティアの取組を進めた。

このように、生徒会活動を充実させ、学校全体の教育活動として計画的に展開することを通して、生徒の望ましい成長を目指した。

**身に付させたい資質・能力**

- 集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする態度
- 望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度

**取組の具体的内容『キーワード あいさつと環境美化について生徒が考える』**

豊かな充実した学校生活を基盤として、生徒一人一人が生徒会の一員として自覚と責任を持ち、共に協力・信頼し支え合える人間関係を築くために、あいさつ運動の充実を図った。

1学期は、月2回のあいさつ運動を生徒会執行部が中心となり行った。2学期からは、生徒全員が生徒会の一員として参加する「毎朝のあいさつ運動」へ変更し、すべての委員会と部活が参加することにした。生徒が参加する曜日を生徒会が奇数週偶数週で担当を決める等、生徒が主体的に取り組んだ。

また、年2回、生徒会執行部の生徒が中学校区の小学校へ出向いて小学生と一緒にあいさつ運動を行い、異年齢集団との交流に取り組んだ。

校内の環境美化活動としては、各部活が中心となり、安全に活動できる環境づくりを目指してグラウンド整備等を年2回実施した。本校は山の斜面に隣接している立地であり、校舎周辺には大量の落ち葉があるので、すべての部活が参加した側溝の泥上げや落ち葉拾い等の清掃活動も実施した。

また、地域が主催した清掃や夏祭りのボランティア活動を生徒へ案内し、参加する生徒を募集した。2学期末までに地域主催の清掃等は7回あり、延べ人数245名の生徒が参加した。

**取組の課題・創意工夫 『キーワード 気持ちのいいあいさつとは・・・、環境を整えると何かが起こる』**

現在、生徒会を中心とした「毎朝のあいさつ運動」は定着し、多くの生徒が参加することができている。しかし、PTA役員による登下校指導の報告から、すべての生徒が元気で気持ちのいいあいさつができている実態ではないことが明らかになっており、あいさつのレベルが課題となっている。

望ましい人間関係は気持ちのいいあいさつから始まるということ、生徒会から全校へ呼びかけ、最高のあいさつのモデルとして「立ち止まり、相手を意識し、礼をして、大きな声で、明るくあいさつをする」を目標に、あいさつ運動を展開する必要がある。

環境を整える美化活動については、1学期の校内美化活動と2学期の校外清掃活動を計画することで、生徒自身が、周りの環境を整えることが安心・安全な学校生活につながることに気づき、普段の掃除時間についても考えるようになってきていることから、年間を通して美化活動を計画的に進めることが必要である。



また、地域が主催する清掃ボランティア活動については、実人数を増やせるように、生徒募集の案内をより早い時期から周知できるようにする。

### 取組の成果（効果）『キーワード 明るく元気な生徒』

生徒会の各種専門委員会や各部活による「毎朝のあいさつ運動」に、多くの生徒が参加し、登校する生徒にあいさつをするようになった。定期的に本校へ来られる方は「最近では明るくあいさつをする生徒が増えた」と話された。この話を全校集会でタイムリーに生徒へ伝え、肯定的評価をすることで、生徒の「毎朝のあいさつ運動」に対する意欲を高めることができた。

地域の清掃活動ボランティアでは、地域の方から「生徒が一生懸命に動いている姿に感動した」との声が学校に寄せられた。今年度は全校生徒の63%が地域のボランティア活動に参加した。

これらの「地域を大切に思い、主体的に行動している生徒の行い」に対して、福山市教育委員会から福山学校元気大賞「あなたが素晴らしい」部門の表彰を受けることができた。



### 今後の展開『キーワード 生徒がより主体的に企画する生徒会活動』

今後は、生徒会がより主体的に「毎朝のあいさつ運動」や環境美化活動の企画を立案する。生徒会執行部が、最高のあいさつを実践するモデルとして自主的に行動することや、校内環境美化及び校外清掃ボランティア活動への積極的な参加を全校生徒に呼び掛ける取組を進める。

また、生徒会が主体となったいじめ未然防止の取組も計画している。生徒自身が、本校のいじめの実態等、学校の状況を真剣に受け止め、「いじめを絶対許さない」という立場に立ち、どのような活動が必要であるか対話を重ね、活動の方向性を考えるようにしたい。

### 他校へのアドバイス『キーワード 継続は習慣を定着させる』

「毎朝のあいさつ運動」を継続してきたことで、生徒は「奇数週の何曜日かどの専門委員会、偶数週の何曜日かどの部活である」と自覚するようになった。継続してきたことで、あいさつ運動の習慣が定着した。

また、環境美化活動に取り組んで「きれいになった」と実感したり、頑張ったことを肯定的に評価されたりすることで、生徒のあいさつや環境美化への意欲がさらに高まった。生徒の活動を肯定的に評価することで、特別活動の内容の充実とともに、生徒の自己肯定感を醸成することができる。